

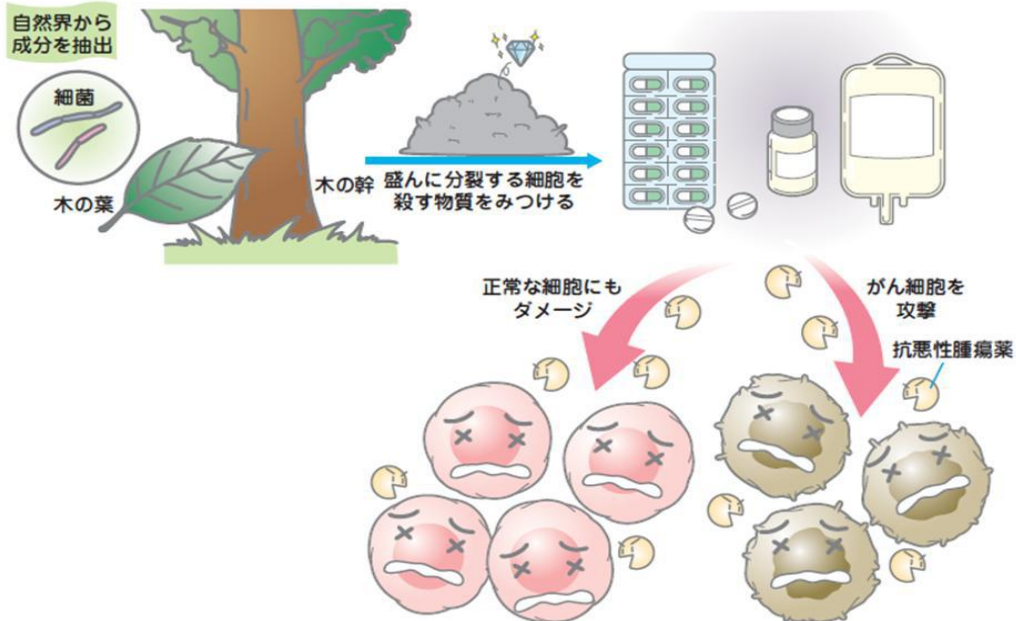
## これまでのがんの治療薬

### —増える細胞にはたらく薬—

○がんを治療する薬は一般的に「抗悪性腫瘍薬」とよばれています。

主に自然界からの、植物の薬、細菌や土壌より抽出し、その抽出物からがん細胞への効果のある物質を見つけ出し薬にしたものです。

がん細胞にはみずから増殖する性質があり、この薬はそれに作用しますが、他の正常な細胞にも作用し脱毛や白血球減少などの副作用が起こります。



## 分子標的治療薬

### —がんの目印にはたらく薬—

○近年、分子生物学が急激な進歩を遂げ、人の体や病気のしくみが解るようになってきました。がん細胞で特徴的な異常を起こしているたんぱく質等いくつかの重要な分子がみつきり、がんの特徴的な分子を標的にしてそれらに対してのみ攻撃する薬が開発されました。これが分子標的治療薬です。

